

# 田原公民館報

## 「田原なんでも文化祭の秋」

館長 須藤 彰

「秋の日はつるべ落とし」ということわざがあるように、日が落ちる時間が早くなってきました。勤務が終わる田原地区から帰る時には辺りがすっかり暗くなるので、その分出勤時に景色をよく見えています。山の色も緑から赤や黄色が目立つようになってきました。両脇にはすすきが並び、車の風で揺れています。秋真っ盛り。秋といえば文化祭のシーズンですが、昨年からコロナ禍の影響により、人が集まるということが厳しくなったため、文化祭の様子は一変しました。大学などの文化祭はオンライン、事前予約や学生だけの参加といった制限をかけての実施が目立ちました。田原公民館の「田原なんでも文化祭」も、市内広く多くの方に見ていただくのが本来の姿なのですが、昨年度・本年度とこの田原地区内の方だけを対象とした形で実施させていただきました。

今はまだ文化祭も縮小開催ですが、来年の公民館創立50周年には以前のよう



令和3年 12月号



発行 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 田原公民館  
 奈良市茗荷町1078-1  
 TEL 81-0888  
 発行責任者 須藤 彰

な文化祭ができることを願ってやみません。参加していただいた皆様、準備、片付け、当日も含めお手伝いいただいた皆様、また、ご来館いただいた皆様にご場を借りてお礼申しあげます。ありがとうございました。

### 田原なんでも文化祭開催!

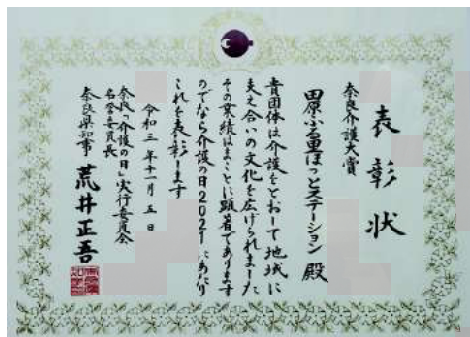
11月6日(土) 7日(日) 田原公民館にて「田原なんでも文化祭」を開催しました。挨拶で述べたようにコロナ禍により縮小開催ですが、発表ビデオ上映、作品展示、物販売、田原小中学校児童作品展示、菊花展、ジャンボポカチャの展示を行いました。どのような様子か写真で



### 田原ふる里ほっとステーション 「奈良介護大賞」受賞

11月11日は「介護の日」。11月5日奈良県庁にて「田原ふる里ほっとステーション」さんが「奈良介護大賞」を受賞されました。この賞は介護の現場だけでなく、幅広く高齢者の生きがいや繋がりを提供する団体や事業者を対象に表彰するものです。田原ふる里ほっとステーションでは地域の農産物の振興と地域のPR、市街地と農村の交流を目的として「産直市場」を行っています。市場生産者の多くは80歳前後の高齢者で、商品を出すのを生きがいにされています。要請に応じて出張販売も行っており、高齢者が外へ出てもらうためのイベントとしての地域福祉活動になっています。「田原やま里弁当」は市場の野菜を使用し、地元食材PRと、地域内の調理困難な高齢者にお弁当を届ける活動をしています。これらの取り組みが広い意味での介護予防活動に繋がっているというのが受賞の理由になりました。今後もこれらの取り組みを通じて、元気な地域、元気な高齢者づくりを行っていただきたいと思います。受賞おめでとうございます。なお

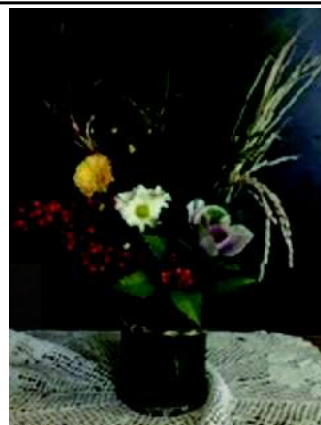
受賞の様子や受賞団体の紹介は「なら介護の日」ホームページからご覧いただけます。YouTube動画にもなっているの



田原まち創り講座

「竹の再生・ミニ門松作り」

田原地区では、昔から年末には門前に門松を置く風習があります。今回は家庭で飾るのに



ちょうとよい、ミニ門松の作り方を学びます。手作りの門松でお正月を迎えましょう。

とき：令和3年12月4日（土）

午後1時30分～4時30分

ところ：田原公民館 2階 集会室

費用：300円（材料費）

対象：田原地区在住の成人

申込みは、電話、FAXで受け付けています。お気軽にお電話ください。

TEL / FAX 0742(81)0888

田原公民館 須藤・上西

道路美化活動及び防災訓練実施

文化の日の午前、晴天の下、道路美化活動を行いました。地域の多数の皆様のご協力により、田原地区全体でアルミ缶・ペットボトル・瓶・その他の雑ゴミ、併せて九十袋が集まりました。午後には、昨年実施出来なかった総合防災訓練を、奈良市消防局のご協力を得て、各町自治会長・田原分団役員・防災防犯対策役員・併せて五十名の皆様の参加で実施しました。防災指導車使用による地震体験や煙体験など、有意義な訓練でした。

(連台会より)



田原のニューカマー(新人)さん

聞き取り：須藤

移動スーパー「とくし丸19号」

國武 里子 さん

10月下旬より田原地区内にて移動販売を始めた「移動スーパーとくし丸」。冷蔵庫付きの軽トラックで各地区を週3日に分けて廻ります。この移動スーパーは、田原アグリサポート協議会が主体となり、田原地区自治連合会協力、株式会社関西スーパーマーケット連携のもと、日頃の買い物に不自由さ、不便さを感じる方が多いという地域課題の解決に向けたものです。早速お話を伺ってきました。

Q:「とくし丸」の名前の意味とは？ A:「篤志丸」。篤志とは志のあついこと。「分かりやすく、親しみやすく、覚えやすく」そんな願いが込められています。全国各地でとくし丸が移動販売をしています。全国各店でも販売パートナーとなる個人事業主が運営しています。Q:「とくし丸」の目的とは？ A:①買い物弱者の支援をすることで命を守ります。②地域スーパーとしての役割を果たすことで食を守ります。③社会貢献型の販売パートナーという職を創ります。Q:どのような商品をどれだけの数扱っている？ A:約400品目1200点の商品を販売しています。今後みなさんの購入する傾向によって商



國武 里子 さん

品を変えたりします。Q:何人で担当をされている？ A:1人です。販売パートナーである私が田原地区を回ります。Q:人気の商品はどんなもの？ A:時間帯や場所によって変わりますが、お昼近くだとお惣菜、お寿司やお刺身なども人気です。新鮮食品や冷たい食品は冷蔵庫や保冷ボックス内に入っているので鮮度は安心です。Q:順番が後の方は商品が買えなくなる？ A:取り置きシステムもあります。連絡をすれば販売地点へ行くまで取り置きをします。Q:支払いの方法は？ A:現金のみです。スーパーの店頭価格プラス商品1点につき10円かかります。Q:「とくし丸」の一日の流れは？ A:朝、関西スーパー 奈良三条店へとくし丸で向かいます。売場の商品を選び、積み込みます。その後、田原地区へ向かいルート販売。販売終了後は関西スーパーへ戻り、冷蔵庫のものを戻します。肉や魚、惣菜などその日ごと常に新しい商品を積むので新鮮です。○田原地区の皆さんへメッセージをどうぞ ▼田原地区のみならず、開業してからもうすぐ1ヶ月がたちますが、水・木の3ルート回らせていただいているのですが、来ていただくみなさんとお話するのが楽しくて、私も元気になります！これからもご利用いただくみなさまに、笑顔で、楽しくお買い物していただけるよう、とくし丸19号が参りますので、よろしくお願いたします。



田原子育て広場

子育て世代が気軽に集まって情報交換や交流をしてもらえる場所です。サーキット遊びや工作、ママのおしゃべりタイムなど、楽しいことがいっぱい！ぜひ遊びに来てくださいね。

<日時> 12月7日(火)、21日(火) 午前9時30分～12時30分

<場所> どんごが丘コミュニティ広場 (旧田原幼稚園)

<対象> 概ね0～3歳児とその保護者

<持ち物> 上履き、お茶などこどもに必要な物

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため日程を変更・中止する場合があります。奈良市のホームページにてご確認ください。

お問合せ：つどいの広場りーべらず TEL 090-1154-8568

12月の公民館行事とその他のお知らせ

- 2日(木) プチ田舎暮らし・田原 - わさび大根 -
- 4日(土) 田原まち創り講座 ~竹の再生・ミニ門松作り~
- 11日(土) TAWARAキッズ⑥
- 15日(水) プチ田舎暮らし・田原 - 串柿としめ縄②
- 17日(金) 移動図書館巡回 (13:00～13:40)



年末・年始の休館日・開所日

- 田原公民館 12月27日(月)～1月5日(水) 休館日
- 東部出張所田原分室(連絡所) 12月28日(火) 年内最後の開所日 1月4日(火) 年明け最初の開所日